

川をきれいに

小野澤繁雄

やや高处比企一族の墓所にきつ竹林抜けてそのかぜの音
墓所に塔それぞれなれどそこに説明のある明るさ幾つ

おおよそは深さの足りぬ水路なれ深さがありてそこに鯉すむ
年よりら耳傾けて話しおり公園林はみちの傍ら

県境霧の峠のそのなかを上り下りしつ子の運転で

彼岸花に囲まれている畑かな休んでいるか畑何もなし

足し算のようなる世界新橋に増橋工事土手が通れず

人生の余白のようなみちにでてスキ伸ぶ秋なれば秋風

コバトンが仲良くしているところなれならば歩いて川をきれいに

ガレージに玉葱下がるはみるところみればニンニクも下がっている